

日本赤十字社北海道支部寄贈

赤十字災害救援車「博愛号」が積丹町へ！

赤十字災害救援車「博愛号」が、日本赤十字社北海道支部（伊藤義郎支部長・札幌市中央区）から積丹町（松井秀紀分区分長）に寄贈され、その引渡式が去る3月15日、同支部で行われました。

この災害救援車は、毎年皆さんにご協力をいただいている社費募集活動や、町民の自主防災訓練活動、余別地区日赤奉仕団活動などが道内でも高く評価されたもので、日本

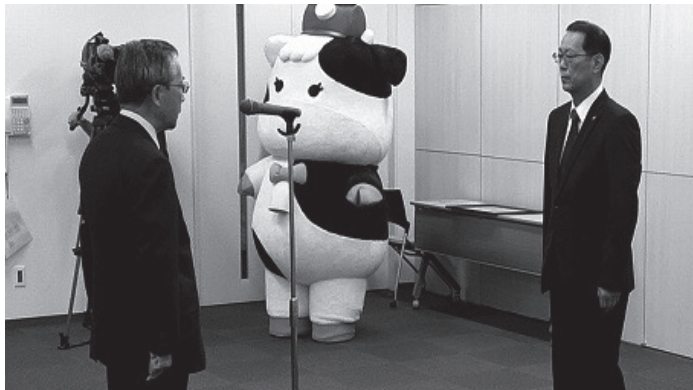
赤十字社に寄せられた全国の社費を購入財源としています。

令和4年度は道内8市町に寄贈されたもので、積丹町が「博愛号」の配備先に選ばれるのは3回目となります。

車両は、災害発生時に毛布などの救援物資の運搬や避難所間の情報伝達など、日赤事業や災害支援に役立てられます。

また、同支部の災害救援隊と連携して、本町での防災減災訓練の充実強化の新たな取り組みが期待されています。

▲3代目赤十字災害救援車「博愛号」



▶8市町を代表し、渡辺日赤道支部事務局長へ謝辞を述べる松井町長（3/15）

新型コロナニュース

令和5年5月8日から

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行しました！

基本的な感染防止行動

- ① 手荒い等の手指衛生
- ② 十分な換気を！
- ③ 三密回避
- ④ 人との距離確保

- 引き続き、手洗い等の手指衛生や換気は感染対策に有効
- 流行期において高齢者等は混雑した場所を避けること等が有効

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、「5類感染症」となり、季節性インフルエンザと同様の取扱いとなりました。

発熱等の受診相談や症状がある場合は、かかりつけ医、国保診療所または北海道が設置する健康相談センター（0120-501-507・24時間対応）にご相談ください。



令和2年12月5日から空席の

副町長に

十河

昌寛氏 就任

【ご挨拶】

4月26日招集の町議会第2回臨時会におきまして、選任のご同意をいただき、同28日に12代目の積丹町副町長に就任いたしました。

3年余にわたるコロナ禍や先が見えない世界的なエネルギー不足、物価の上昇で疲弊した社会経済情勢にあつて、いま、各自自治体が持続可能な地域社会をどのようにつくっていくのか問われている中、副町長選任のご同意をいただき、たいへん光栄でありますとともに、改めて、身の引き締まる思いとその職責の重さを痛

感しているところです。

これまで、教育長として、子どもたちの「生きる力」の育成や町民の方々の学びの機会の提供などに取り組みま

い後は、松井町政の目指す「幸せ実感『協働の力で創る積丹の未来』」の実現に向け、町長を補佐し、職員とともに積丹町発展のため、精一杯努力する所存でありますので、町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



略歴

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 昭和29年3月 | 旭川市出身(69歳) |
| 昭和52年3月 | 北見工業大学工学部卒業 |
| 昭和52年4月 | 旭川電気軌道(株)入社 |
| 昭和53年4月 | 北海道教育委員会 採用 |
| 昭和57年4月 | 北海道芦別高等学校勤務 |
| 平成21年4月 | 後志・留萌・日高教育局等で勤務 |
| 平成23年6月 | 北海道教育庁生涯学習課 生涯学習センター担当課長 |
| 平成25年4月 | 北海道教育庁高校教育課専門参事 |
| 平成26年2月 | 積丹町教育委員会 教育長に就任(1期目) |
| 平成30年2月 | 積丹町教育委員会 教育長に再任(2期目) |
| 令和3年2月 | 積丹町教育委員会 教育長に再任(3期目) (幸恵夫人と町内在住) |

新しい教育長に 原 光宏 氏 就任

【ご挨拶】

4月26日招集の町議会第2回臨時会で任命のご同意をいただき、同月28日に10代目の積丹町教育長に就任いたしました。

数々の伝説に彩られた歴史ある風光明媚な積丹町で、教育長という重責を担わせていただくことになり身の引き締まる思いです。

現在、世界は歴史的な大変革期を迎えており、情報通信技術など先端技術の発達は、想像上の産物であった対話型AIやSNSなどの実用化をもたらし、これまでの時間と空間の概念が変貌しつつあります。

こうした社会環境の急激な変化の中、学校教育や社会教育における様々な教育課題は、自分自身や他者を慈しむ心を育む教育や人格形成の重要性を示唆しており、学校・家庭・地域社会が連携して、子どもたちの自己肯定感を高めることやふるさとを愛する心を育むことなどはその礎になるものと思います。

微力ではございますが、これまでの行政経験を活かし、積丹町の教育行政の推進に全力を尽くしてまいりますので、町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



略歴

| | |
|---------|----------------------------|
| 昭和34年4月 | 中川郡池田町出身(64歳) |
| 昭和57年3月 | 弘前大学理学部卒業 |
| 昭和58年4月 | 北海道教育委員会 採用 |
| 平成5年4月 | 北海道厚岸水産高等学校勤務 |
| 平成22年4月 | 北海道教育庁・留萌教育局・北見市体育協会等で勤務 |
| 平成24年4月 | 北海道監査委員事務局監査主幹 |
| 平成26年4月 | 北海道教育庁総務課主幹 |
| 平成28年4月 | 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課介護運営担当課長 |
| 平成29年4月 | 北海道教育庁後志教育局長 |
| 平成31年4月 | 北海道立函館美術館長 |
| 令和3年3月 | 退職(札幌市内転居) (奈緒美夫人と町内在住) |

まちの日記帳



海の豊かさを守ろう2023 余別小児童 サケ稚魚放流式

4/19

余別小学校児童 13 名が、余別新川で余別・海 HUG くみ
たい（会長：澤 貴幸）主催のサケ稚魚放流式に参加しま
した。

安宅保護水面監視員（町農林水産課）から、サケの生態
を通じた、「森・川・海」の栄養循環により、海藻が繁茂
する豊かな海を守る大切さの説明を受けた後、観察ケース
に入った体長約 5 cm のサケ稚魚を余別新川にそっと放流
しました。

児童は川面を元気に泳ぐ稚魚に「大きく育ててね～！」
とエールを送り、外海への元気な旅立ちを祈りました。



交通ルールを確認！

町内小学校で「交通安全教室」を実施

4/19

4/21

4/26

4/27

日常生活に活かせる、正しい交通ルールやマナーを
身につけることを目的とした「交通安全教室」が町内
の各小学校で行われました。

教室では各駐在所長から歩行・横断の仕方や正しい
自転車の乗り方について説明され、真剣な様子で学び
ました。

参加した児童は「説明がとてもわかりやすく、勉強
になりました。これからも交通ルールをしっかり守っ
て登下校します。」と話していました。



健やかな成長を願って 保育所で“こどもの日会”

5/2

びくに・みなと保育所で“こどもの日会”が行われ、
園児たちは、絵本やゲーム、「こいのぼり」の歌を歌
うなどして楽しい時間を過ごしました。

それぞれが工夫した部分や上手にできた箇所などを
一生懸命発表したり、お友達の作品を見て良い部分を褒
め合ったりしました。



びくに保育所



みなと保育所

雨二モ風二モマケズ奮闘

第33回 B & G杯争奪ゲートボール大会

5/9

5/23

第33回 B & G杯争奪ゲートボール大会がふれあいゲートボール場（美国町）で行われ、3チーム・12名が日頃の練習の成果を発揮し、白熱した戦いを繰り広げました。

優勝 Cチーム（代表 岡崎 一美）

準優勝 Bチーム（代表 熊本 和子）

第3位 Aチーム（代表 新井田 明見）



きれいな街でお出迎え

美国婦人会が清掃活動

5/15

本格的な観光シーズンを前に、美国婦人会（魚屋 友子会長・会員:50名）は町内の清掃活動を行いました。

この日の清掃活動には約20名が参加し、火バサミなどを片手に約2時間をかけて熱心にゴミを拾い集めました。

毎年、同会が事業計画として続けているこうした地域のボランティア活動が更に広がってほしいものです。



教室に響く美声

リフレッシュ学級「歌声サークル」

4/12

5/15

一般町民を対象に、歌を通じて声の出し方を学びながら、音楽への親しみを深める「リフレッシュ学級『歌声サークル』」が4月より海洋センターを会場に行われています。

この教室では、発声練習をした後、今も歌い継がれている童謡・唱歌・懐メロを歌う活動を定期的に行っています。

参加者は、和やかな雰囲気の中で歌声を響かせ、交流を深めていました。

音楽を通じた交流の機会として、より多くの皆さんの参加をお待ちしています。

